

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報				○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)				
科目名(英)	現代社会要論 (Elements of Modern Society)			到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)		
ナンバリングコード	A20210	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 標準レベル 人間力コア科目/キャリア科目	【関心・意欲・態度】 ①自ら調べ学修ができる。 ②自分の役割を理解し、それに沿った行動ができる。						
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 後期	【知識・理解】 テーマについて必要な知識を獲得できており、問題点の分析に活用することができる。			10点			
必修・選択区分	選択			【技能・表現・コミュニケーション】 ①現代社会における問題点について、適切な手段を用いて表現することができる。 ②現代社会における問題点について、自分の意見を述べることができる。			10点			
授業コード	A032051	クラス名	-	【思考・判断・創造】 リテラシーのプロセス(情報分析→課題発見→構想→表現)を獲得し、そのスキルを活用できる。			10点	20点		
担当教員名	鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次、吉本 圭一郎									
履修上の注意、履修条件	教育効果の観点から、受講生を40名に制限します。履修希望者が超過した場合は、第1回目の授業において、選考の参考資料にするためのレポート作成を行います。 ・グループワークを中心に行いますので、他のメンバーに迷惑をかけないよう無遅刻・無欠席で受講して下さい。 ・グループワーク時は、ディスカッションや作業などに積極的に参加してください。受け身の姿勢では意味がありません。			○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) 各テーマの成果物(ポスター、パワーポイント資料)により、現代社会における問題点について、論理的に表現できているか、リテラシーのプロセスが活用できているかを評価します。 ①各テーマの発表(プレゼンテーション)により、現代社会における問題点及びリテラシーのプロセスについて、わかりやすく表現できているかを評価します。 ②グループワークにおける行動により、調べ学修ができているか、自分の役割を理解し、それに沿った行動ができるか、自分の意見を述べているかを評価します。						
教科書	なし									
参考文献及び指定図書	『知へのステップ 第3版—大学生からのスタディ・スキルズ—』 (くろしお出版)学習技術研究会 編著 ※社会参画入門・実習1使用教科書									
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、人間力概論、産学一致の勧めなど									
○授業の目的・概要等				○その他						
授業の目的	現代社会が抱える問題について、資料を基に自ら考え、また、グループで議論することにより、「社会問題を理解し、様々な意見に触れ、自分の考えを持つことができるようになる」「なぜ自分がそのような考え方を持つようになったのか、理由を説明し、自分の意見として主張できるようになる」ことを目的とします。									
授業の概要	現代日本社会の根本問題ともいえる少子高齢社会における課題について、①「高齢社会について考える」②「少子化を解消する」の2つのテーマを設定し、6名程度のチームによるグループワークを通じて、課題解決の提案を行います。社会的な問題に対して、提供された情報・資料および追加収集した情報を分析し、それを基に課題を発見し、その解決策を考え、論理的なストーリーを持った内容を明快にプレゼンテーションできるような能力の向上を図ります。また、チーム内で建設的な話し合いをし、協力しながら成果物を作成する能力も養います。									
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」								
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」								
	(3)アクティブラーニング	PBL(プロジェクト型授業)								
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目									
実務経験のある教員による授業科目	該当しない									

2020年度 授業シラバスの詳細内容

<p>○授業計画 科目名：現代社会要論（Elements of Modern Society） 授業コード:A032051 担当教員：鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次、吉本 圭一郎</p> <p>学修内容</p> <p>1. オリエンテーション ○授業の目的・内容・進め方・成績評価等について説明 ○受講生決定の参考資料としてのレポート作成</p> <p>予習：シラバスを熟読し、授業の目的、概要等を理解する。 復習：ジェネリックスキル(リテラシー・コンピテンシー)について自己分析</p> <p>(約2.0h)</p> <p>2. 現代社会における商店街の意義や価値(1) ○資料分析 資料を読んだ上で、商店街が衰退した原因について、複数の視点から考えをまとめる</p> <p>予習：商店街について基礎知識を整理 復習：配付資料の再読み込み</p> <p>(約2.0h)</p> <p>3. 現代社会における商店街の意義や価値(2) ○前回のワークシートの記入例を解説 ○資料分析 活性化に成功した商店街の事例を読み、それぞれの商店街が成功した要因をあげ、現代社会における商店街の役割や意義に関してまとめたる</p> <p>予習：前回のワークシートの書き込みを精査 復習：配付資料の再読み込み</p> <p>(約2.0h)</p> <p>4. 現代社会における商店街の意義や価値(3) ○前回のワークシートの記入例を解説 ○文章作成 前2回の資料を読んだうえで、商店街が衰退した原因についてまとめ、商店街活性化のいくつかの事例を踏まえて、現代社会における商店街の意義や価値について、600字～800字程度で論じる</p> <p>予習：前回のワークシートの書き込みを精査 復習：作成した文章を評価基準に従って推敲し、完成させる。友人2名の文章を評価。</p> <p>(約2.0h)</p> <p>5. 高齢社会について考える(1) ○高齢社会の問題点・課題について自由に考える(グループワーク) ○高齢社会の背景・問題点について情報提供(教員)</p> <p>予習：高齢社会の問題点・課題について基礎知識を整理 復習：グループワークの内容の整理</p> <p>(約2.0h)</p> <p>6. 高齢社会について考える(2) ○与えられた資料を読解・分析し、高齢社会における課題を探る ・資料読解(個人ワーク) ・専門家グループ会議 ・グループでのまとめ作業</p> <p>予習：情報分析 復習：情報整理</p> <p>(約2.0h)</p> <p>7. 高齢社会について考える(3) ○2030年における望ましい社会像を構想し、その方向性を実現するためのアイディアを出す(グループワーク)</p> <p>予習：追加情報の収集 復習：アイディアの整理</p> <p>(約2.0h)</p> <p>8. 高齢社会について考える(4) ○プレゼンテーション準備「2030年における望ましい社会像を根拠に基づいて描く」(グループワーク) ・前3回の内容を踏まえてプレゼンテーションの骨子を固める ・模造紙に発表資料を作成</p> <p>予習：アイディアの整理 復習：発表資料の作成</p> <p>(約2.0h)</p>	<p>○授業計画 科目名：現代社会要論（Elements of Modern Society） 授業コード:A032051 担当教員：鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次、吉本 圭一郎</p> <p>学修内容</p> <p>9. 高齢社会について考える(5) ○プレゼンテーション「2030年における望ましい社会像を根拠に基づいて提案する」</p> <p>予習：発表練習 復習：プレゼンテーションの振り返り</p> <p>(約2.0h)</p> <p>10. 少子化を解消する(1) ○少子化の原因について自由に考える(グループワーク) ○少子化の背景・問題点について情報提供(教員)</p> <p>予習：少子化の原因について基礎知識を整理 復習：グループワークの内容の整理</p> <p>(約2.0h)</p> <p>11. 少子化を解消する(2) ○与えられた資料を読解・分析し、少子化の原因を探る ・資料読解(個人ワーク) ・専門家グループ会議 ・グループでのまとめ作業</p> <p>予習：情報分析 復習：情報整理</p> <p>(約2.0h)</p> <p>12. 少子化を解消する(3) ○少子化解消のため目指すべき社会のビジョンを構想し、その方向性を実現するためのアイディアを出す(グループワーク)</p> <p>予習：追加情報の収集 復習：アイディアの整理</p> <p>(約2.0h)</p> <p>13. 少子化を解消する(4) ○プレゼンテーション準備「少子化を解消するための具体的な方策を構想し、まとめ」(グループワーク) ・前3回の内容を踏まえてプレゼンテーションの骨子を固める ・パワーポイント資料作成</p> <p>予習：アイディアの整理 復習：発表資料の作成</p> <p>(約2.0h)</p> <p>14. 少子化を解消する(5) ○プレゼンテーション「少子化を解消するための方策を提案する」</p> <p>予習：発表練習 復習：プレゼンテーションの振り返り</p> <p>(約2.0h)</p> <p>15. 振り返り ○グループワークおよびプレゼンテーションにおける自己の活動を振り返り、どのような能力を獲得できたかを確認する</p> <p>予習：これまでのワークシート等を見直す。 復習：リテラシーのプロセスを確認</p> <p>(約2.0h)</p> <p>16. 期末試験 ○与えられた資料を読解・分析し、時間内に課題解決策についての小論文を作成する。</p> <p>予習： 復習：</p>
---	---